

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《田善賞 小学生の部》



### 「おいしいなランチタイム」

須賀川市立第一小学校 4年 片桐 真煌

《講評》口いっぱい、本当にうまそうに表現できている。

室内の様子も工夫され、初めての木版画なのに思うままに刃を使い切っているところがすばらしい。

## 《田善賞 中学生の部》



### 「髪を切った友」

須賀川市立西袋中学校 1年 細田 一葉

《講評》友だちの表情や性格まで木版画の特徴を最大限に生かした優れた作品となっている。構図面でも刃の使い方の豊かさを感じるすばらしい作品である。

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《最優秀賞 小学生の部》



### 「完成した絵が楽しみな自分」

須賀川市立西袋第一小学校 4年 三瓶 崇人

《講評》初体験の彫刻刀をそれらの特徴を生かしながら、自分の様子を大変うまく表現できている。顔の表情が特にうまい。また、服装の文字も画面をきんちょうさせているのがすばらしい。全体的にゆったりした感じが良い。

## 《最優秀賞 小学生の部》

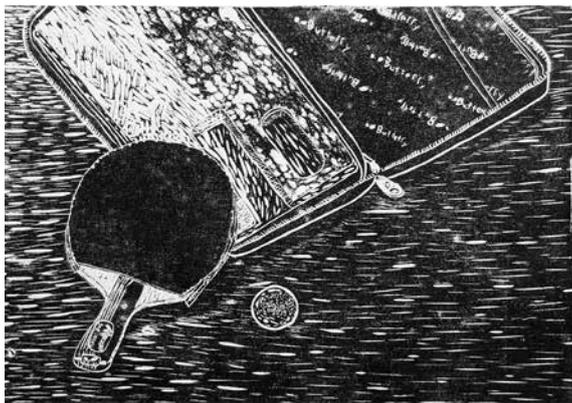


### 「カブトムシがとんだ」

須賀川市立柏城小学校 2年 金子 万紘

《講評》紙版画の刷りも上手で、カブトムシの羽根を広げた感じもうまく、ブーンと羽音がきこえてきそうに強く動きの感じられるよい作品である。特に、画面いっぱいに並べて表現したのがよかった。

## 《最優秀賞 中学生の部》



### 「たくさん使った卓球用品」

須賀川市立小塩江中学校 1年 押川 千晏

《講評》自分自身が使っている卓球ケースとラケットや球（ピンポン）を木刃の特徴を生かし、それぞれの質感まで表現しているところが優れている。特に身の回りの生活実感というものをうまく表わされているのが中学生らしい。

## 《最優秀賞 中学生の部》



### 「秋の中学校」

須賀川市立仁井田中学校 3年 兼子 真奈

《講評》常に見なれている校舎の片隅を遠近法による技法を使って、ニードルでさらに秋の空気と樹々やコンクリートや小石の感じ等を、質的にも表現できている。中学校最後のトータル表現としても優れた作品である。

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 小学生の部》



### 「あやとり」

須賀川市立第二小学校 2年 太田 宗佑

《講評》あやとりのひもをゆびにかけて、かおの前で広げていますね。かおの表じょうや手のかたちがとてもじょうずにかけています。

## 《優秀賞 小学生の部》



### 「あふれ出すやる気」

須賀川市立第二小学校 6年 芳賀 優那

《講評》ぼかしの技法をとりいれ、構図良く表現されている。

## 《優秀賞 小学生の部》



### 「ハイ！チーズ」

須賀川市立第三小学校 2年 大沼 結 椛

《講評》紙版画のやわらかな白い線と顔のやさしい表情ががうまく表現され、見る人になごやかな気分を与えている。

## 《優秀賞 小学生の部》



### 「ラケットスマッシュ」

須賀川市立第三小学校 4年 加賀 芽生

《講評》自画像でしょうか。バドミントンでスマッシュを打つ瞬間が描かれています。画面いっぱいの構図や大きく描いたラケット、目の前に飛んできたシャトルによって、「今だ！」と言いたくなるような一瞬がとてもよく表現されています。

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 小学生の部》



「ザリガニにはさまれちゃった」  
須賀川市立小塩江小学校 1年 芳賀 徠生

《講評》ザリガニにはさまれたいたみが、体いっぱいに表示されている。

## 《優秀賞 小学生の部》



「リコーダーを吹く私」  
須賀川市立阿武隈小学校 4年 安藤 結愛空

《講評》肌の表現が良くでていて、真剣なふんいきが感じとれる。

## 《優秀賞 小学生の部》



「集中して字を書くわたし」  
須賀川市立柏城小学校 4年 佐久間 七菜

《講評》書道で文字を書く自分の姿を木版画で表しています。白と黒の対比をはっきりさせることで、題名の通り集中している様子や緊張感がとてもよく表現されています。

## 《優秀賞 小学生の部》



「ミシンを操作する自分」  
須賀川市立柏城小学校 6年 阿部 悠也

《講評》家庭科の授業でしょうか。ミシンを使って何かを縫っている自分の姿を、木版画で表わしています。少し上から見たような構図のバランスが良く、首をかたむけて手元をのぞきこむ様子や布を押さえる手の表現が素晴らしいです。

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 小学生の部》



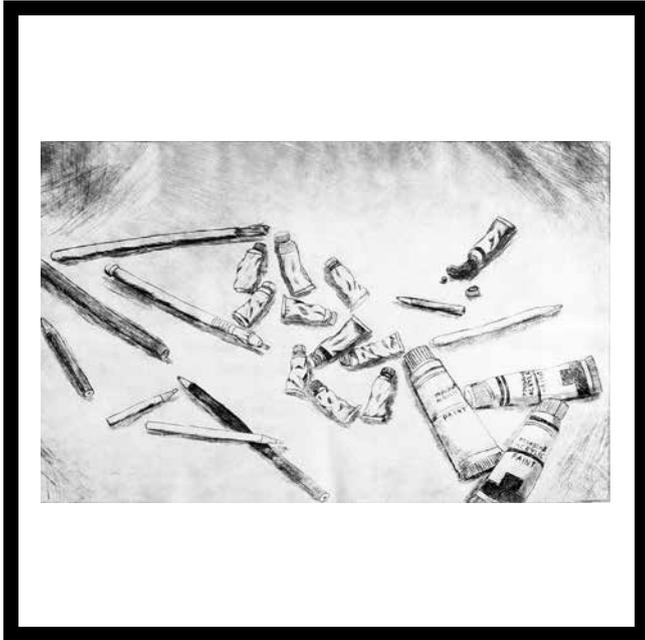
### 「にらめっこ大会、楽しいよ」

須賀川市立大森小学校 2年 関根 堂真

《講評》にらめっこをしているのは自分と友だちでしょうか。おもしろい表情がとてもよくかかっていますね。うしろのオレンジ色のもようもきれいです。

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 中学生の部》



### 「愛着のあるもの」

須賀川市立第三中学校 2年 五十嵐 鈴

《講評》自分が使っている画材をドライポイントで描いています。一つ一つのモチーフがたいへん丁寧に描写され、題名にある通りの愛着をととてもよく感じさせます。構図や画面上部の陰影表現も良いです。

## 《優秀賞 中学生の部》



### 「笑顔な友人」

須賀川市立西袋中学校 1年 黒津 昂大

《講評》友人のポートレートを描いた木版画。あえて黒（陰影）の部分の面積を大きくすることによって、ハイライトがより強調される効果と独特の雰囲気を生み出しています。

## 《優秀賞 中学生の部》



### 「親友」

須賀川市立西袋中学校 1年 齋藤 あおい

《講評》細かい切れ込みと陰影をもちい、立体感を表している。

## 《優秀賞 中学生の部》



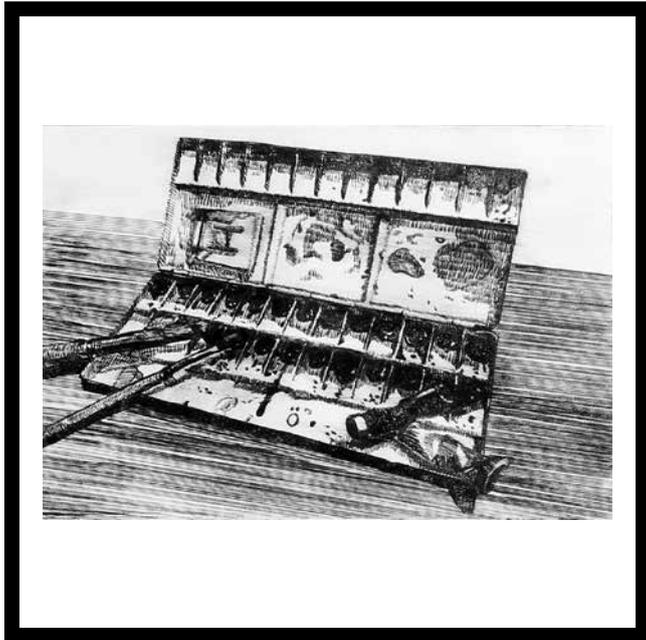
### 「きれいな友達」

須賀川市立西袋中学校 1年 神枝 美宇

《講評》コントラストを強調した木版画で端正に描かれたポートレートです。顔の表情や手の表現がよくできており、縦方向のストロークを強調した彫りもよいです。

# 第32回 田善顕彰版画展

## 《優秀賞 中学生の部》



### 「作品制作の相棒」

須賀川市立西袋中学校 2年 設楽 実由

《講評》日常にある画材を斜線と細かい線で丁寧に現わし、陰影を付けることで立体感を出している。

## 《優秀賞 中学生の部》



### 「自画像」

須賀川市立仁井田中学校 2年 根本 祥貴

《講評》頬づえをつく姿をドライポイントで描いた自画像。逆光の写真のように陰影を強く描くことによって、もの思いにふけるような感じがとても良く表現されています。髪の毛の描き込みなども丁寧に良いです。

## 《優秀賞 中学生の部》

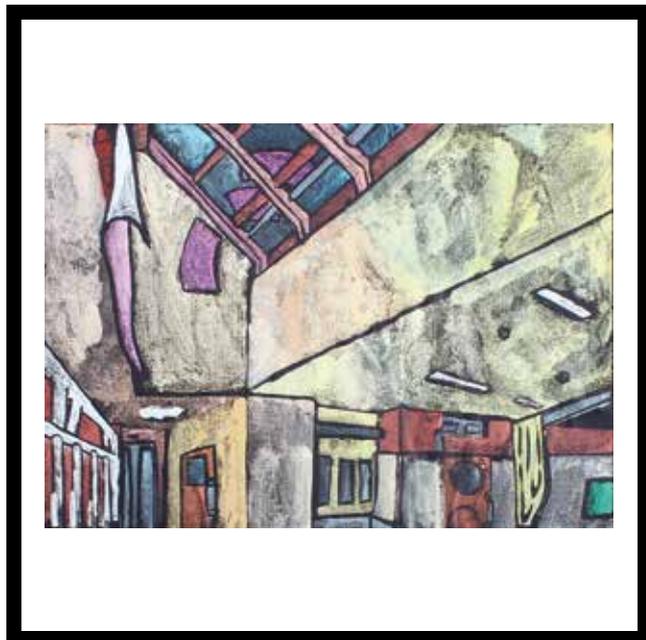


### 「次はとる！」

須賀川市立仁井田中学校 3年 大橋 千音

《講評》自分の目線で飛んでくるボールに対し準備できている状況が、腕を中心に細かく表現されている。

## 《優秀賞 中学生の部》



### 「吹きぬけと天窗」

須賀川市立長沼中学校 1年 深谷 結依

《講評》校舎の一角を多色刷り木版画で描いた風景画。構図の切りとり方が面白く、不思議な雰囲気生まれています。丁寧な描写や色彩のバランスも好感がもてます。